

1. 業務品質監査（平成20年4月～平成20年9月実施分）

| 監査対象部門 | 監査実施期間 | 監査結果 | |
|-------------------------------|---------------|---|---|
| | | 監査概要 | 指摘・要望事項 等 |
| 広報部 エネルギー館グループ | H20.4.22～5.27 | 監査対象業務として「見学者対応および広報施設の運營業務」（エネルギー館・原子力発電所への見学者に対する原子力理解活動促進及び展示物の維持管理業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 技術総括部 業務システムグループ | H20.4.17～5.7 | 監査対象業務として「情報セキュリティ業務」（原子力関連業務に携わる関係者の情報流出に対する危機感を高め、情報セキュリティに対する意識の高揚を図っていくこと、あわせて、原子力関連情報を厳格に管理することを関係者に求めていく業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 個人の電子媒体の利用が認められたグループには速やかに中止を求め、使用されていないことを確認すること。 【良好事例】 画像データによる情報共有にデジカメを使用しているが、現場から直接データを転送できないため、業務効率向上を図るべくカメラ付きPHSによる画像転送システムの導入を検討し、具体的な提案としてまとめていた。 |
| 保全部 計測制御(1・2/3・4号) グループ | H20.4.11～6.11 | 監査対象業務として「4号機 監視機能健全性確認検査（その1の2）」のうち「エリア放射線モニタ特性検査」（各建屋内に設置され、建屋内の放射線を監視する装置で装置の特性を確認するとともに、設定値を超えた場合、中央制御室に警報を表示させることを確認する検査に関わる業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 所長付 | H20.5.9～6.2 | 監査対象業務として「ミッションの達成状況の把握・分析、課題提起業務」（発電所の方針・目標の達成状況の把握・分析の場としての会議体の事務局として実施する資料作成、目標未達の原因分析依頼、課題提起等の業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 教育管理グループ | H20.6.3～6.26 | 監査対象業務として「H19年度の教育・訓練・研修の実績評価とH20年度計画への反映状況」（発電所におけるH19年度の教育訓練基本計画に基づく教育訓練の実績を評価し、H20年度の教育訓練基本計画に評価結果を反映、策定する業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 総務部 土木建築グループ | H20.5.20～6.18 | 監査対象業務として「防災対策強化工事の計画、実施状況」（発電所における消火設備、消火関連設備の信頼性向上対策、他の地震対策工事の計画、実施業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 総務部 労務人事グループ | H20.6.13～7.2 | 監査対象業務として「非常時・緊急時対応資材管理業務」（発電所において非常事態や緊急事態が発生した際、対応が行えるよう飲料水、食料、医薬品などの資材を準備・管理する業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 非常用備蓄品の在庫総数確認を行い、確認記録を作成すること。 【良好事例】 本店指示「一般管理部門業務習熟度確認の仕組みの導入」に基づき、個人の業務ごとの習熟度を把握し、そのレベルをレーダーチャート化、個人の業務知識習得、能力向上の目標設定を行い育成計画に反映、教育の推進を図っていた。また、指示にはないチーム、グループ単位での集約を行い、組織としての業務品質向上を図るための育成計画を策定し、実施していた。 |

| 監査対象部門 | 監査実施期間 | 監査結果 | |
|-----------------------|---------------|--|--|
| | | 監査概要 | 指摘・要望事項 等 |
| 運転管理部 運転評価グループ | H20.6.5~7.18 | 監査対象業務として「プラントデータ評価業務」(プラントの性能確認及びプラントパラメータの傾向管理を行い異常の早期発見を行う業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 技術総括部 保安検査グループ | H20.7.16~7.28 | 監査対象業務として「保安検査等の対応業務」(発電所において実施される原子力安全・保安院が行う保安検査及び保安調査の対応総括業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 全ての業務計画が確実に実施できるように、誰が担当するかを含めた業務分担表を通常の業務分担表とは別に作成、メンバーへの周知を確実にするとともに、達成目標の確実な展開が図られるようにしていた。 |
| 総務部 経理グループ | H20.7.18~7.29 | 監査対象業務として「非常時・緊急時における資材班実施業務」(非常災害時、原子力災害発生時に経理Gが資材班として行う、車両確保・配車並びに社外輸送機動力および社外工事力、緊急時資機材の要請・確保に関わる業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 再発防止が必要な需要箇所契約での指導事項について、適切なタイミングで各部長・各GMへ情報提供および指導を実施すること。 |
| 運転管理部 放射線・化学管理グループ | H20.7.29~9.2 | 監査対象業務として「液体廃棄物管理業務」(放射性液体廃棄物の放出に当たっての分析、放出管理業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 重要度の高い分析機器の耐震対策を速やかに実施すること。 【良好事例】 社外提出資料の作成に当たって、気体廃棄物や液体廃棄物のデータを管理する担当者がそれぞれのデータを確認しているが、担当者毎にチェックマークの色を変え、確認責任者が分かるように管理を行っていた。 |
| 品質・安全部 安全管理グループ | H20.7.28~9.1 | 監査対象業務として「法定主任技術者に対する支援業務」(法定主任技術者[原子炉、ボイラー・タービン、電気]の指示書、指導や助言等の管理、及び各主任技術者からの要求に応じた業務のサポート等の業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 主任技術者の指導、助言等を記載した主任技術者情報は、指示書と誤解されないよう管理すること。 【良好事例】 トラブル発生等における問い合わせに迅速に対応するためには保安規定・技術資料類の理解度向上が必要との認識から、代行者を含む原子炉主任技術者と安全管理Gのメンバーとで勉強会を実施していた。 ヒューマンエラー発生率低減を目指し、当直員に対して保安規定・停止時安全処置に関する検討会をサイトシミュレーターを使用して実施し、当直員の安全管理能力向上を図っていた。 |
| 広報部 企画広報グループ | H20.8.21~9.18 | 監査対象業務として「通報対応業務」(地域住民の安全確保を目的に、発電所から自治体に通報・連絡を的確に行う業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし |
| 技術総括部 放射線安全グループ | H20.8.20~8.27 | 監査対象業務として「保護衣等の洗濯及び洗濯設備の管理業務」(発電所の管理区域で使用する保護衣、防護具等を配備・回収・洗濯・配備する業務及び洗濯設備の維持管理業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 保護衣・保護具管理に関する二次マニュアルと三次マニュアルの整合を図ること。 【良好事例】 委託多面評価パトロールを実施し、作業現場における良好事例、気付き事項を洗い出し、気付き事項については受託者を交えて対応策を検討し、改善を図るとともに、良好事例については他委託業務への水平展開を行うなど改善に積極的に取り組んでいる。また、自主保全活動の観点からH20年度のパトロールでは設備の健全性に関するチェック項目を追加し、確認していた。 |

| 監査対象部門 | 監査実施期間 | 監査結果 | |
|----------------------|--------------|---|--|
| | | 監査概要 | 指摘・要望事項 等 |
| 保全部 保全計画グループ | H20.8.7~9.10 | 監査対象業務として「安全安定運転に向けた予算運用状況管理業務」(保全部各グループの予算データをまとめ、管理する業務。また保全部内会議において予算運用状況を報告するとともに、プラントの安全安定運転に向けて必要な工事が実施されているか保全部大で確認するために計画外件名や中止・繰延件名、未実施件名を提示する業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】 経営会議で説明するタイミングが定例、臨時にかかわらず、工事の必要性を確認するために必要な情報を適宜示すこと。 計画外や中止・繰延件名と同様に、予算との乖離額が大きい予算超過件名に関する内容を各グループが保全部長に説明し、管理された状態とすること。 |
| 改善推進グループ | H20.9.25~継続中 | 監査対象業務として「発電所のモラル、マナーの向上に向けた取り組み」(改善推進Gが担当しているモラル向上委員会、マナーアップ推進会議の事務局業務の実施状況)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認中。 | 監査継続中 |
| 技術総括部 技術グループ | H20.9.29~継続中 | 監査対象業務として「新潟県中越沖地震を踏まえた地震対策の実施」(技術Gが担当している新潟県中越沖地震を踏まえた地震対策の実施状況の取り纏め業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認中。 | 監査継続中 |
| 保全部 原子炉プロジェクトグループ | H20.9.25~継続中 | 監査対象業務として「3RRPV設備他定検のうち炉内ISI業務」(3号機のシールドおよびシールドサポート等の健全性を確認する検査業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認中。 | 監査継続中 |

2. その他の監査

- (1) 不適合事象管理状況監査：対象なし
- (2) 特別監査：対象なし

3. 平成19年度下期末、監査継続中等で監査結果が確定していなかったもの

| 監査対象部門/件名 | 監査実施期間 | 監査結果 | |
|-----------------------------|---------------|---|---|
| | | 監査概要 | 指摘・要望事項 等 |
| 【業務品質監査】 運転管理部 発電グループ | H20.2.25~3.28 | 監査対象業務として「雑固体廃棄物焼却設備運転関連業務」(発電所施設で発生した廃棄物のうち可燃・難燃の固体廃棄物等を焼却する設備運転に関わる業務)について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。 | 【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 廃棄物処理設備の運転管理に関して、当直員の駐在研修を実施し、廃棄物処理設備の円滑な運転に向けての改善を図っていた。 |

以上